

全和師会

広 報

第31号

発行責任者 (一社)全和歌山県鍼灸マッサージ師会

会長 金 崎 義 明

和歌山県和歌山市太田49-1 小川コーポ1階

TEL 073-488-4577

FAX 073-488-4578



全和師会解散に至る！

(一社)全和歌山県鍼灸マッサージ師会

会長 金 崎 義 明

1955年7月21日(昭和30年)御本小一郎 初代会長が全和歌山県鍼灸按摩マッサージ師会として創立し数多くの山坂を乗り越え現第九代 会長 金崎 まで継続し会の存続に努力を重ねて参りましたが何分にも会員の減少及び財政上の逼迫状況を打破する事が出来ず恥かしながら白旗を上げざるを得なかった。

誠に私の力不足と深く認識しております。本当にすいませんでした。

全和師会 約70年の歴史の中に古参会員、現会員とそれぞれの歴史と思い出に幕を引くこととなり私自身にも解散に至った、さみしさと情けなさがこみ上げて参ります。だとしてもこのまま全和師会解散では、残された会員の方々に大変ご迷惑をかける事になります。

それを少しでもなくす為に一昨年前から和鍼師会との合流の話し合いを続けて参りました。

その結果、全和師会の提案が、今年度会員総会で発表した通り会員及び保険手数料、保険提出期限等がほぼ認められ、又会員の皆様のご理解とご協力も有り、すべて円満に解決しようとしています。後は全和師会一人残らず和鍼師会への合流していただける事を節に願うばかりです。令和6年9月8日に中央コミュニティーセンターに於いて全和師会保険研修会を行い、その後全和師会解散に関する経過報告会を行い、その時に出席会員様に移籍表示用紙をお渡ししますのでご理解ご協力をお願いします。

約70年の全和師会運営及び各種事業等及び多大なるご理解、ご協力をたまわり又それを支えていただいた事務職員及び歴代役員に対し、心よりお礼申し上げます。

本当にありがとうございました。

会令和6年度 定時総会報告

開催日時 令和6年6月9日(日) 午後1時～午後16時30分

開催場所 和歌山市中央コミュニティーセンター 活動室(4)

会員総数 29名(賛助会員2名含む)

出席会員数 29名

内訳 出席者数 15名

委任者数 14名

出席役員 理事 金崎義明(代表理事) 真鍋寛 荒堀光男 眞砂和生

議長・議事録作成者 金崎義明

1. 開会の儀

司会者 真鍋寛 進行の下、金崎義明会長の挨拶後、来賓 和歌山県福祉保健部健康局 医務課長 石田 定氏から岸本県知事のお祝いの言葉の代読を頂き、和歌山県議会議員 森れい子氏のご祝辞を頂き退会する。

議長選出 荒堀光男を選出し 議長席に着座、司会者より出席会員、29名(賛助会員2名含む)、定款第4章18条の規定により議決権の過半数を有する会員が出席している為、総会が有効に成立する旨を伝えた。

直ちに議案審議にはいる。

2. 議事の経過要領及び議案別議決の結果

第1号議案 令和5年度事業報告並びに決算報告、監査報告について
上記議案は挙手をもって承認

第2号議案 令和6年度事業計画案、令和6年度予算案について
上記議案は挙手をもって承認

第3号議案 中央情勢報告
質疑応答の結果、承認

第4号議案 全和師会解散事項に関する件
上記議案は会長より説明、質疑応答の結果、おおむね了承
令和6年9月8日の保険研修会で個々意思表示を得る

第5号議案 療養費改定に関する件
保険部長 金崎義明より説明、質疑応答後、了承

以上をもって議案全部の審議を終了し、議長退席、閉会の辞、金崎義明の挨拶で
会員総会終了 時15時30分

上記の決議を明確にする為、議長及び出席理事に於いて次に記名押印する。

令和6年度 全和師会保険研修会

日時： 令和6年9月8日(日) 午後1時～午後4時まで

場所： 中央コミュニティーセンター 活動室(6)

住所： 和歌山市三沢町1丁目2番地 電話：073-402-2678

1時～2時

☆演題：『あはき療養費変更事項について』

講演者：保険部長 金崎 義明

☆総会でお渡しした料金改定資料を必ずご持参ください

(当日、資料は用意しておりません)

≪休憩 10分間≫

2時10分～3時

☆演題：『健康保険証マイナンバーカード登録、読取り』

講演者：(一社)和歌山県鍼灸マッサージ師会

会長・保険部長 下平文彦 氏

3時～4時

☆演題：『解散経過報告』以降に関するアンケートについて

説明： 会長 金崎 義明

以上

令和6年度全和師会学術研修会のお知らせ

令和6年度も和鍼師会と協催事業となります

学術研修会 参加費用は全和師会で負担します

日時 令和6年11月24日(日) 午後1時～3時30分

場所 和歌山ビッグ愛

演題 講師 未定

全和師会 全員 多数の出席をお願いします

8月末退職を迎える湯浅恵美子さんのご挨拶

今から振り返ってみますと既に6年前になります。面接の折 緊張のあまりカチコチで何を話したか覚えていません。(笑)

皆様のお仲間に入れていただき、鍼灸マッサージ治療が保険の取り扱い出来る事も知らなかった私を親切にご指導下さいました。

入って急遽、東洋療法推進大会 in 鹿児島に前会長能澤義和氏、林睦代氏と共に参加する事となり、様々な出会いとたくさんのお経験をさせていただきました。働く事の大切さ、考える事の楽しさ、人生の師と仰ぐ方々との出会い等忘れられないことばかりです。

一見 無味乾燥な数字を通して知った社会の動き、特にコロナ渦での変化は大きなものでした。全ての経験が貴重な私の財産です。

今後共皆様のご健康とご活躍をお祈りし、お礼と挨拶に代えさせていただきます。

湯浅 恵美子

編集後記

全和師会 70年の歴史が閉じようとしています。

この31号が全和師会最後の号になってしまいました
拙い編集でしたが、会報として役目を果たし感無量です
ありがとうございました。

目良 東洋晴